令和 6 年度第 3 回島根支部評議会議事概要報告

開 催 日	令和 7 年 1 月 1 7 日（金曜日） 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
開 催 場 所	サンラポーむらくも 瑞雲の間
出 席 者	石井評議員、宇畑評議員、太田評議員、小川評議員、鳥谷評議員、古津評議員、村川評議員、宮本評議員（議長） （五十音順）
議 題	<p>1. 令和 7 年度保険料率について</p> <p>2. 令和 7 年度島根支部事業計画及び島根支部保険者機能強化予算（KPI 含む）について</p>
議 事 概 要 （主な意見等）	<p>評議員 9 名中 8 名が出席。</p> <p>【議題 1】 令和 7 年度保険料率について 事務局から資料 1 - 1、1 - 2 に基づき説明。</p> <p>《主な意見》</p> <p>【事業主代表】 平均保険料率を 1 0 % とする方向性が示された中で、島根支部の保険料率に関して意見する余地があるのか少し疑問ではある。昨年度と同様にインセンティブ制度の結果が良いことは非常に評価できるが、今後も継続して同制度でよい結果が取れるかどうかについては懸念がある。</p> <p>〈事務局〉 全国平均が決まり、政府予算案が決まると都道府県単位保険料率も決まるため、来年度の保険料率について意見の余地があるのかというご指摘はそのとおりでありますが、今後、将来に対しての意見や議論もいただきたい。</p> <p>【被保険者代表】 保険料率については議論する必要すらないと考える。 令和 7 年度の保険料率は、令和 6 年度の保険料率と比べてインセンティブ制度の結果が反映したうえで 0. 0 2 % の負担増となっていることから、制度上の限界を感じている。 今後の医療給付費をどのように減らしていくかの議論が重要であると考えている。</p> <p>【被保険者代表】 当然のことながら、被保険者一人ひとりに確認をすれば保険料率は低いほうが良いという意見が圧倒的に多いとは思いますが、健康保険制度を中長期に維持するために必要な保険料率としては妥当と考える。</p>

【事業主代表】

令和7年度の保険料率は、平均保険料率10%を下回っている中で最低限の上げ幅になっていることから仕方ないと感じる。先ほど、他の評議員からも意見があったように、どのように支出を減らしていくかということの方が大切。また、保険料率を下げることで、将来、赤字の幅が大きくなり大幅に保険料率が上がることの方が良くないと考える。

【学識経験者】

インセンティブ制度による引き下げの影響が効いたうえで、令和7年度の保険料率は0.02%の引き上げとなったが、10%以下におさまった。保険料率については良いと思う。

【学識経験者】

保険料率について意見はない。昨年度に続いて、インセンティブ制度の結果が上位だったことはすごいことである。

【事業主代表】

保険料率について意見はない。

インセンティブ制度については、広報や情報発信などにより、各企業・団体の健康推進に向けた取り組みが進んでいるのではないかと思う。今後も、企業・団体に対して、健康推進などに関する広報・情報発信を積極的に行っていただきたい。

常にインセンティブ制度で15位以内を目指すことを目標に頑張ってもらいたい。

【議題2】令和7年度島根支部事業計画及び島根支部保険者機能強化予算（KPI含む）について
事務局から資料2-1、2-2、2-3、2-4、参考資料1、2に基づき説明。

《主な意見》

【被保険者代表】

重症化予防対策に関する受診勧奨について、外部委託により電話勧奨を行うという内容だが3点質問がある。①どのくらいの頻度・回数行うのか。②どの程度の費用を見込んでいるのか。③知らない電話番号からの着信は出ない方も多いがそこに対しては、どのように対策するのか。

〈事務局〉

①委託事業者からは複数回電話を行う予定である。②費用として625万円を見込み、予算を計上している。③電話番号については、事業所経由の電話勧奨のため、事業所の方は電話を取っていただけるのではないかと考えている。

【被保険者代表】

返納金債権の回収率は全国的に見ると高いほうなのか。

〈事務局〉

島根支部の返納金債権の回収率は悪い数字ではない。全国の支部と比較すると中位の方に位置している。

【被保険者代表】

外部に委託する事業について、個人情報の管理や情報漏洩に対するチェックはどのようにしているのか。

〈事務局〉

業者を選定する段階で、個人情報保護体制の第三者認証取得有無や作業場所等について条件を決めている。また、協会けんぽの職員が業務履行場所に実地調査に出向いて確認を行う等実施している。

【事業主代表】

広報について、DXということでオンラインに対応したデジタルコンテンツも作ってもらいたい。事業所でポスターを掲示するだけでは、被保険者全員に届けることはできないため、デジタルコンテンツを用いて個人に働きかけることも必要ではないか。

〈事務局〉

毎月、納入告知書と一緒に送付しているリーフレットは、電子化している。また、支部のホームページにも支部が作成した広報誌やポスター等を掲載している。今後の広報の際、ご意見を参考にさせていただく。

【事業主代表】

ひとつ一つの事業が、結果的に何を目標としているのか、インセンティブ制度やKPIのどの項目に寄与することを目指して行うのかがもう少しわかるように示していただきたい。

〈事務局〉

各事業のKPIは、インセンティブ制度の指標となるものを含んでいるため、いくつかの事業は、インセンティブ制度にも寄与するものにはなっている。資料の構成については、今後の資料作成時にわかりやすいように工夫させていただく。

【学識経験者】

メンタルヘルスに関する要因分析・情報発信について、具体的にどのようなことを行うのか。また、どのくらいの時期に分析を終わらせ、情報発信はいつ頃から行うのかについて教えていただきたい。

〈事務局〉

メンタルヘルスについては、今年度行っている代謝リスクに関する要因分析と同様に気候風土などが似ている支部との比較分析を行うなどを検討している段階である。スケジュールについては、できるだけ早めに結果を出し、来年度内には結果の報告や情報発信を行っていく予定である。

【学識経験者】

こどもの健康教育に取り組むことになった背景を教えてください。

〈事務局〉

子供のころから健康に興味関心を持ってもらうことで、大人になったときの健康にもつながると考えてのこと。また、子供を通じて、その親世代に対しての働きかけも可能だと考えている。健康教育の資料についても、自宅に帰って家族と話してみようという内容になっている。

【学識経験者】

具体的なターゲットは？

〈事務局〉

小学校高学年や中学生を想定している。

【学識経験者】

学校保健の先生方は、保健便りの作成等、健康づくりに力を入れているため、学校保健や教育委員会と連携すると事業としてよいものになると考える。

【被保険者代表】

新聞社でも子供の活字離れが問題となっており、小さい頃から新聞に関心を持ってもらうために子供向けの記事を掲載したり、学校に記者が出向いて授業を行ったりしている。

新聞社に勤める立場として、広報に関して意見をやるなら、広告を打つだけでなく、文化欄や情報欄に、記事として出ること大切ではないかと考える。記事として掲載されれば、他の地方紙にも波及して効果が大きいと考える。

【事業主代表】

健康推進について、自身の健康について関心の薄い20～30代に対しての働きかけを行ってほしい。弊社の若い従業員たちも、健康診断のあとの再受診になかなか行かない。若年層をターゲットにして情報発信などを行っていただきたい。

特 記 事 項

- ・傍聴者：なし
- ・次回開催：令和7年7月予定